



「なかみ」の育成に向けた2学期に

～ 子供たちに「自信」を～



約2週間の夏休みが終了しました。「新しい生活様式」での夏休みでしたが、自分を磨く努力はできましたか？

さあ！今日から2学期。新たな気持ちでスタートしましょう。例年より少し長丁場となり、コロナ禍の影響はまだまだ受けることになりますが、どんな状況であれ子供たちにとっては重要な意味を持つ1年であり、「心と体が伸びる充実の2学期」には変わりません。そのことを我々教職員も肝に銘じ、子供たちと向かい合ってまいります。

2学期の始業式での言葉で、子供たちに一つの詩を紹介しました。東井 義雄氏の著書「自分を育てるのは自分」の中の一編です。東井氏はこの著書の中で「人間は五千通りの可能性をもって生まれてくる。その可能性の中から、どんな自分を取り出していくか。皆さん一人一人が責任者なんです。世界でただ一人の私を、どんな私に仕上げていくか。その責任者が私であり皆さん一人一人なのです。」と書いています。

「心のスイッチ」をいれるのは自分自身。夏休みでエネルギーを蓄えた今こそ、「よし やるぞ！」という気持ちを大切に、子供たちが自分の能力を眠らせたままにせず、「心のスイッチ」をいれて夢や目標に向かってがんばりぬくことを願っています。

子供たち自身が「心のスイッチ」をいれるためには、家庭での励ましや称賛、学校の学習や学校生活での体験や経験が重要です。子供たちが色々なことに挑戦したり粘り強く取り組んだりする気持ちである、「なかみ」を育成し、一人一人の子供が自分に「自信」がもてる2学期となるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。引き続きの保護者、地域の皆様には御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

「心のスイッチ」

東井 義雄

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかったら 見えても見えない
人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心がなかったら 聞いていても 聞こえない
頭もそうだ
はじめからよい頭 悪い頭の区別があるのでは ないようだ
「よし やるぞ！」と心のスイッチがはいると
頭も すばらしい はたらきを しはじめる
心のスイッチが 人間を
つまらなくもするし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもするし 暗くもするように



学校公開 行います(9月14・15・17・18・19日)



1学期の授業参観や学校行事も中止となり、保護者の皆様に学校での子供たちの様子を見ていただく機会が持てませんでした。そこで今回、学校での子供たちの様子を見ていただけるよう、9月14日より学校公開の時間を設定いたします。感染防止のため、外で行う体育を中心に公開します。お時間がありましたらぜひ、足をお運びください。

(詳細は通知にてご確認ください。また、感染状況や天候によっては中止となる場合もございます。ご了承ください。) ※1年生は19日、授業後に「引き取り訓練」を行います。

	14日 (月)	15日 (火)	17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)
1					
2	3年 体育			2年 体育	6年 体育
3		1年 生活			1年 体育
4	4年 体育	5年 体育	5年 体育		※土曜授業 3時間
5	6年 体育	2年 体育		4年 体育	
6			3年 体育		

9月の予定は8月末の学校だよりにてお知らせします。

